

ダンシングスネーク作り～フレンド学級～

7月11日2校時に千葉市科学館の指導員さんを2名お招きして、出前授業が行われました。

作ったのは「ダンシングスネーク（踊るヘビ）」。大小の紙コップで作ったおもちゃの筒に口を当てて声を出すと、紙の上のモールで作ったヘビが動きます。声（音）は 震え、その振動でヘビが動くという仕組みです。声の大小や高低によってヘビの動きが変わることに気づき、夢中になって声を出していました。

